第1章 噴火警戒レベル及び防災対応の目安

図 5-1-1 噴火警戒レベル及び防災対応の目安

噴火警戒レベル	レベル1	レベル2(火口周辺規制)		レベル3(入山規制)		レベル4(高齢者等避難)	レベル5(避難)	噴火継続時及び終息後の降雨
	活火山であることに留意	①火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性	②火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生	①居住地近くまで重大な影響を及ぼす噴火の可能性	②居住地の近くまで重大な影響を及ぼす噴火の発生	居住地に重大な被害を及ぼす噴火の可能性	居住地に重大な被害を及ぼす噴火が発生あるいは切迫	
想定される噴火ケースと火山現象	大幡池	- 火口内で火山ガス噴出の可能性 - 火山性地震の増減 - 火山活動に若干の高まりや異常	- 火口直下を震源とする火山性地震の増加 - 火山性微動の増加 - 火山ガス放出量の増加 - 噴気活動の高まり - 熱活動の高まり	- 火口周辺に降灰 - 噴石(概ね2km以内) - 火砕流(概ね1km以内) - 空振を観測	- 山体膨張が確認される中、火山ガス放出量の急増 3,000m超の噴煙の連続噴出物にマグマ物質 - 噴石(2km) - 空振を観測(天候不良時)	- 噴石(概ね3km以内) - 火砕流(2km)、溶岩流(3km) - 空振を観測(天候不良時)	- マグマだまりへの多量のマグマの蓄積、噴煙柱崩壊型火砕流発生が切迫 - 火砕流(概ね3kmを越える) - 溶岩流(概ね4kmを越える)	- 火口湖決壊型の火山泥流 - 降灰のあった溪流で土石流、降雨型泥流が発生
	新燃岳	火口内、西側斜面の割れ目付近及び火口縁に影響する程度の噴出の可能性	- 噴石(2km以内) - 火砕流(2km以内) - 顕著な火山性微動 - 空振を観測	- 噴火の拡大傾向 - 噴出物にマグマ物質 - 二酸化硫黄放出量増加 - 火山性微動の急増 - 火山性地震の急増 - 山体膨張	- 噴煙の高さが火口縁上3,000m以上となる連続噴火 - 噴煙の中に多量の軽石 - 噴石(概ね4km以内) - 火砕流、溶岩流(2~4km) - 空振を観測	- マグマだまりの体積増加、噴火規模の増大、継続の可能性 - 火山性地震の急増 - 火砕流(2kmを越える) - 溶岩流(居住地に切迫)		
	御鉢	火口内に影響する程度の噴出の可能性	- 噴石(1km以内) - 火口周辺に降灰	- 噴石(2.5km以内) - 空振を観測(天候不良時)	- 噴火の拡大傾向 - 噴石(2.5km付近) - 火砕流・溶岩流(居住地近く) - 山体内での規模の大きな地震 - 多量のマグマ上昇を示す顕著な地殻変動	- 噴石(2.5kmを超える) - 火砕流、溶岩流(居住地に切迫または到達)		
噴火のシナリオ								
基本的な対応	《配備体制》	情報連絡体制		災害警戒本部(状況により災害対策本部)			災害対策本部	
	《主な対応》	- 協議会との連絡調整 - 火口周辺への避難指示発令		- 協議会等の開催(情報収集) - 道路及び登山道規制 - 高齢者等の避難、緊急安全確保の発令準備 - 火山情報・避難計画等の周知 - 伝達体制の整備状況確認 - 観光客への適切な情報提供 - 農業・畜産業等への情報提供			- 協議会等の開催 - 高齢者等避難発令 - 火口から概ね4kmの範囲に立入規制(道路・登山道) - 指定一般避難所開設・避難支援 - 火山情報・避難計画等の周知 - 家畜等の避難	- 協議会等の開催 - 避難指示発令 - 火口から概ね4~5kmの範囲に立入規制(道路・登山道) - 指定一般避難所開設・避難支援 - 自衛隊の災害派遣要請 - 家畜等の避難
※必ずしも噴火警戒レベルが段階を追って引き上げられるとは限らないことに注意が必要である。 ※自主避難については、レベルに限らず対応する。 ※火山活動の状況や避難行動への影響などにより、避難対応はこの限りではない。								